



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより



コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



迎春

新年のあいさつ

2035年への抱負



2035年に団塊の世代が全員85歳以上になります。すでに複数の病気を抱えています。治療の「ばら売り」では肝心な生活機能再建は無理です。病気達に折り合いをつけさせ、生活機能をリハビリで向上させる、それが私たちの「建物丸ごとリハビリ」です。
コープリハビリテーション病院
老健あかね
管理者 鍛本真一郎

事故で途切れた社会とのつながりを戻すリハビリ

【食べたい気持ちを現実に】

事故により首から下を動かすことが難しくなったAさんの紹介です。
入院当初、鼻には栄養のチューブが入り、表情には活気が



リハビリが工夫したタッチペンでAさんの自由度拡大

がありませんでした。リハビリを行ない、介助で大好きなお寿司が食べられるまで回復されました。この頃には表情が戻り、Aさんの心が前進しているのを感じました。

【ご家族との会話が可能に】

次に、会話が可能となるスピーチカニューレに交換し、発声訓練を開始しました。

当初は息苦しさがあり、まだまだ多くは話せないにも関わらず、次々に喜んで声をかけるスタッフの問いかけに、敬語で話されました。装着時間を徐々に伸ばし、面会に来られたご家族と話が出るまでに回復されました。

【タブレットで外部との交流を】

そして、Aさんの気持ちを



あごで操作する電動車椅子で退院先の病院を自由に過ごすAさん
(左：岩本理学療法士、右：寺本作業療法士)

より元気にするため、タッチペンを啜る方法でのタブレット操作を検討しました。毎日練習に取り組み、スタッフが驚くほど操作が上手になりました。また、ベッドに寝た状態で操作ができるように、Aさんの意見を取り入れペン置き場を作成しました。遠方のご家族と連絡ができ、好きな動画

ソワニエ看護専門学校 総合実習

ソワニエ看護専門学校3年生の総合実習が11月14日から29日にかけておこなわれました。

一人の患者さんを受け持ち看護展開をしていく各論実習とは異なり、これまで修得した知識・技術を統合し、根拠に基づいた看護実践力を養い、看護チームの一員としての役割の理解や、時間管理と優先順位を学ぶ実習となります。実際に変則勤務を経験したり、患者さんを複数人受け持つこととなります。そのため、今回の実習は今までの臨地実習の集大成と呼べるでしょう。その中で、実際の現場の動きやチームの働きなど身近に感じることができたのではないのでしょうか。



筆者 圓能寺美香

複数人受け持ちをすることで、臨床判断能力を考える場となったと思います。最終日の総括では、複数受け持ちに戸惑いながらも、時間管理と優先順位を考えた行動を学ぶ

機会になりました。また、安全管理を学びこれまでの実習とは違った視点で学べたという声が生徒から寄せられました。今後は国家試験も控えています。全員が合格することを願っています。そして、春から看護師の仲間が増えることを楽しみにしています。
コープリハビリテーション病院
回復期リハビリ病棟
副主任 圓能寺美香

を見られるようになり、病室から笑い声が聞こえてくるようになりました。

退院後にお会いした際に、「僕が変わったのは、タブレットで外と繋がれたことが大きかった」と言われていました。

【気持ちも元気に出来るリハビリを目指して】

リハビリは体だけを元気に

する仕事ではなく、患者様の気持ちも元気にする仕事だと改めて感じました。

そのためには、その人を元気にする社会参加の視点を大事に日々患者様の生活に寄り添っていかねばと思います。
コープリハビリテーション病院
回復期リハビリ病棟
作業療法士 寺本瑛美
理学療法士 岩本雅司

災害時における広域災害医療体制の確保のための防災訓練

中国地区DMAT実働訓練へ参加して



災害訓練に三原赤十字病院から参加されたDMAT隊

況や支援の必要の有無を確認に求められました。E.M.I.Sという災害ソフトを活用し、建物の被害、ライフライン、食料や医薬品の備蓄、職員体制、緊急搬送が必要な方の有無など被災状況の投入を行ないました。院外の方から聞き取りや情報提供により災害対策には院内職員での情報共有や準備などまだ足りない実感でございました。今回の訓練を参考にし、実際の災害の時に役立つ対策を実践していきます。

(コープリハビリテーション病院 事務部次長 田辺紀子)

今回は岡山県に大型の台風が上陸し、県下全域に浸水等による風水害が発生という想定で訓練を実施しました。



DMAT隊へ被災状況を報告し、支援の緊急度を判断する

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

看護士介護士リハビリで患者を元気にしよう

中学生に加え、高校生向け体験講座も新たにスタート

倉敷市は今年度から体験講座を中学生から高校生にも対象を拡大しました。今回は倉敷市立真備陵南高等学校で11月29日に行いました。

内容は中学生向けの講座を参考にし、看護師によるAEDと注射器の体験、介護福祉士による自立による食事体験及び介助、理学療法士による

体力測定と車椅子体験の3つを企画しました。参加人数は10名前後でしたので全ての講座を体験してもらいました。開始直後は緊張



声かけや一口量を工夫した食事介助法を初体験



注射器の操作方法を目の前で実践



玉口介護福祉士(左)、水畑看護師(中央)、佐藤理学療法士(右)



〇お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

診療表		コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]			
診療時間	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健康アップ教室	訪問リハビリ	通所リハビリ
午前 9:00～12:30	14:30～15:00		午後	9:00～16:50	9:30～11:00		9:00～16:00
月	1/22 中角 (整形外科)			○		○	○
火	渡辺 (予約制)	○	滝本 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		滝本 (予約制)	○		○	○
金	香口			○		○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00～12:00 13:30～16:30 土曜日 9:00～12:00 日・祝日 休み

の面持ちでしたが、体験が始まると緊張も解け、楽しんで参加している様子を見て、こちらもホッとしました。今回の体験が進路に悩む学生の一助となり、夢を掴む手助けが出来れば幸いです。(コープリハビリテーション病院・老健あかね 看護師 水畑拓馬 介護福祉士 玉口麻美 理学療法士 佐藤雅昭)



コープリハビリテーション病院 4階病棟 介護士 妹尾千恵見



コープリハビリテーション病院 4階病棟 看護師 信原多佳子

新入職員紹介